

16. 9期生「夢発見・夢挑戦・夢実現」体験記

「受験を通じて学んだこと」

早稲田大学 先進理工学部 電気情報生命工学科 (Tさん)

私は、第一志望である早稲田大学に合格しました。合格する自信は全くなく、ダメもとで出願しました。しかし、自分の努力が認められたと思うと本当にうれしく、達成感でいっぱいです。

私が受験勉強を本格的に始めたのは、4月の終わりでした。部活生が周りにたくさんいるため、自分はかなり早いほうだったと思います。きっかけは担任の先生と二者面談を行い、喝を入れられたことです。厳しめな言葉をもらい、負けず嫌いな自分は志望校に絶対合格してやろうと思うようになり、気持ちが変わりました。この頃の私は、国立が第一志望でした。経済的な面からも私立は厳しいということ言われていたからでした。受験勉強を始めたときは、英語の成績が落ち始めていた頃でした。何とかしなければと思い、まず、基本的な英単語から始めました。とりあえず一冊完璧にしようと始めたのですが、覚えていくうちにとても楽しくなり、それほど苦に思わずできました。すると、一冊仕上げる頃には嘘と思うくらい長文が読めるようになりました。文法なども徹底的に行い、3年での初めての模試で英語の偏差値が5上がりました。それからは英語が安定してきたため、その他の教科にも力を入れていきました。私の勉強方法は、化学は授業プリントと教科書を見直して、自分用に全てまとめ直して一冊のファイルを作りそれを何度も見直すこと。生物はセミナー生物の余りの部分に知らない知識を書き加えること。図録を持ち歩いて読書すること。生物の図録は本当に大好きで、毎日鞆に入れて、夜は家でずっと眺めていました。そのせいか、今ではぼろぼろになり後半のページはだいぶとれてしまいました。生物を極めたいなら、図録を完璧にすることをおすすめしたいです。こうやって生物がよりすきになっていき理学部への憧れも大きくなっていった10月頃、担任から私立の話がされました。考えていなかった突然の話で驚きましたが、親は反対することなく、私の意思を尊重してくれました。どうせ受けるのなら妥協はしたくないと思い、D判定だった先進理工学部を第一志望に変更しました。このとき12月で、センター前ではあるものの他の私立に向けた勉強と両立していくのは正直きつかったです。でも私の意思を尊重してくれる家族や熱心に教えてくれる先生方、一緒にがんばる友人の姿を見たら頑張れました。周りの人の力は本当に大きいものでした。

受験はつらいことも多かったけど、学ぶことの方が多かったです。周りの支えてくれる多くの人存在に気づけて、仲間を助け合う大切さを学びました。自分を支えてくれた友達、先生方、そして親にはとても感謝したいです。

16. 9期生「夢発見・夢挑戦・夢実現」体験記

「自分の夢の実現のために」

大分大学 教育福祉学部 学校教育課程 発達教育コース (Iさん)

私は大分大学教育福祉学部学校教育課程発達教育コースに合格することができました。高校に入学したときは、まさか自分が大分大学に進学することになるとは夢も思っていませんでした。しかし、西校の特色である夢ナビプロジェクトのおかげで、自分が本当にやりたいことを見つけることができ、それを実現するための第一歩を踏み出せました。そんな夢ナビプロジェクトの中でも私が自分の将来のことを真剣に考えるきっかけになったのは、3年次に行った個人研究です。

私は元々理系で数学や理科が得意だったので、それを活かして、なおかつ自分が興味を持てるような学問を大学で学ぼうと考えていました。そこでいいなあと思ったのが建築やインテリアの勉強です。何かを自分の力で作り上げていけるという点が魅力でした。建築やインテリアの中でも私は色というキーワードにひかれ、個人研究のテーマに決めました。研究を進めていくうちに、色のことばかりになってしまい、当初の建築というキーワードから遠ざかってしまったと感じたときがありました。そのとき改めて私が学びたいことは何なのか、今度は自分が好きなものや得意なことから考えてみようと思い、真っ先に思いついたのが子どもと関わることでした。

それからは、幼稚園教諭になりたいと思うようになり、どこの大学に進学するかを考えました。はじめは県外の大学に行こうと思っていました。ですが私は外国が大好きで、いつかは留学するつもりだったのでなるべくお金がかからないようにしようと思い、県内で進学することにしました。様々なことを考えたとき、大分大学は私にとってとてもよい大学だということに気づき、進学先に決めました。

受験の際に大変だったのは、二次試験の勉強です。発達教育コースの二次試験の科目は小論文と英語で、私の苦手とするものでした。そこで、英語を重点的にすることにしました。まず、問題を過去10年分全てやりあげ、中でも苦手だった単語は、自分で単語帳を作り、それを全て暗記するつもりで覚えました。自分がわからなかった単語だけを書いているので、効率よく覚えられました。さらに、英作文も数をこなしていくうちに、だんだんと書けるようになりました。この勉強法のおかげで、本番の長文はわからない単語がほぼ無くて、スラスラと読むことができ、英作文は今までやってきた構文や単語を使って書くことができました。

試験が終わってから、苦手だった英語をがんばって本当によかったと思いました。また、今まで指導してくださった先生方のおかげだとも思いました。受験は決して自分一人の力で乗り越えたものではなく、親や先生、そして共にごんばれる仲間がいたからこそ乗り越えられたものです。自分が努力していたことは必ず誰か見ていてくれるし、努力は裏切りません。自分が本当にやりたいことを見つけ、その目標を達成するために人一倍努力すれば、必ず目標達成できるはずです。目標や夢をもって、仲間と一緒にがんばってください。